

歴 史 講 座

「安芸国と速谷神社」

令和6年、速谷神社の創建1800年大祭が斎行されました。神社には古代に広島のを拓いたと伝わる、安芸の国の祖神 飽速玉男命（あきはやたまのおのみこと）が祀られています。畿内と九州を結ぶ山陽道を守護する神としても尊敬され、朝廷からも格別の待遇を受けながら歴史を重ね現在に至っています。

その存在する様々な歴史、神社の関わり等々、郷土の歴史を探りましょう。

とき 5月16日(金)

13:30~15:00



ところ 中央市民センター 多目的ホール

講 師 出雲大社 大社國学館講師、広島修道大学非常勤講師
中道 豪一(なかみち ごういち)さん

申込み 5月9日(金)までに中央市民センターまで。

中央市民センター(平日:9時~17時)

電話0829(20)1266/FAX0829(32)1257

中道豪一 (なかみちごういち)

昭和53(1978)年、広島市生。國學院大學大学院文学研究科神道学専攻博士課程後期修了。博士(神道学)。出雲大社 大社國学館講師、広島修道大学人文学部非常勤講師。広島県立図書館友の会会長、広島市企画総務局公文書館広島市歴史コーディネーター、大崎上島町史編さん委員(編集長)、大崎上島町文化財保護委員、加藤友三郎顕彰会役員など。神道研究の一環として、原爆投下前における旧広島市域の文化研究や石門心学の研究・継承に取り組む。著書:『古地図と歩く広島』(南々社)、『大崎上島 金原さんと馬場さんの残してくれた事』(吉村印刷)、『神道教育研究の課題と展望』(溪水社)、共著『日本史のなかの広島県』(山川出版社)、監修『超覚寺来暦』(株式会社紙販)など。論文多数。

